

FC岐阜 大好き 通信

『きだいどおり』ではありませんが、そう呼んでいただいてもOKです。FC岐阜のサポーターが小さな話題を集めてお配りします。試合前の時間つぶしにご利用ください。会場に残されるとごみになっちゃいますので、お持ち帰りください。会場美化にご協力を。



すべてのこだわりを捨て、勝利にこだわれ。

後期第16節 佐川急便SC戦 の巻

11月25日(日) 13時～
岐阜メモリアルセンター長良川競技場

相川加入効果もあって調子は戻ってきたようにも見える。しかし実際は薄氷ともいえる勝利の連続で、安定しているとはいえない。そんな中で迎えるホーム最終節は、佐川急便を迎える。はっきり言って、強い。残り2節で優勝を決めたクラブなのだから弱いわけがない。おそらく王者の誇りをかけて乗り込んで来るだろう。

ならば、我々も退かなければよいのだ。岐阜の誇りをもって迎え撃とう。そして、“その先”への道を開く勝利の凱歌をあげるのだ。

◇このシーズンを振り返って

●ターニングポイントとなった6月16日の大津皇子山での佐川急便SC戦。あの時はチームもサポも何もできなかった、敗戦の重みだけ。追い討ちをかけるように松永監督に体制移行。Bチームを見ている私は期待が膨らんだ、しかしすぐには結果が出ない。結果がすべてのプロの世界で生きてきたゆえに、つらい面もあったろう。あの方はいつ休んでいるんだろう？というくらい的情熱で取り組んできた。時間はかかったがようやく変化の兆しが見え始め、皆のベクトルも揃いつつある。あの時とは違う今のFC岐阜の力を見せてやろう。今日はどんな小さな拍手、声援、音でもいいので、共に選手の後押しをしましょう。

(nanase)

●今日の佐川急便戦がホーム長良川での今期ラストゲームになります。先の大垣でのソニー仙台戦こそ勝利しましたが、長良川での勝利となると前期(!)最終戦の鳥取戦までさかのぼらないといけません。

すでに佐川優勝、熊本2位は確定しましたが3位以降は今だ混戦模様で安全圏とは言えないのが現実です。去年、一昨年と驚異的な追い込みで昇格を勝ち取ってきました。今年もそれに倣う形になってます。

残り2試合勝利で勝ち点63になります。2連勝すれば3位確実です。経営不安等の雑音がありますが、大前提はまずチームの成績。これが今年最後のFC岐阜観戦にられる方も多いでしょう。

来年をJ2で迎えるか、JFLで迎えるかの瀬戸際です。ゴール裏以外の方々も精一杯の応援をお願いします！(ジュニア)

●今季、ずーっと感じていたのは「変化はすれども成長なし」ということ。本来なら戦術的なものも含めて、熟成されていなければならぬ時期にイチから直しを余儀なくされたというハンはあったものの、レベルの低い位置からリスタートしなければならなかったのは、チームのベースとなるものが戸塚監督の頃から存在しなかったのではないのでしょうか。

松永監督になって大幅な整備は行われましたが、習熟するにはやはり時間がかかるためその時期は星が思うように伸びなかったのが、ここまで苦戦している原因かと。また今季は予定していたキャンプが全く行えなかったり、明らかに準備不足と思えるシーンがいくつかありました。そのツケは終盤になっても払わざるを得なかったところに、今季のチーム作りが失敗だったことを物語っていると言えるでしょう。

来季のカテゴリがJ2でもJFLでも、今度はチームをしっかりと作ってもらいたいものです。そしてシーズンを通じて選手やチーム全体が成長する過程を、サポーターとして後押ししたいと思います。(あふるん)

(裏面へつづく)

リーグ全試合の結果

前01節	○ Honda 0-1 岐阜
前02節	○ 岐阜 2-0 高崎
前03節	○ 岐阜 1-0 TDK
前04節	○ S仙台 1-3 岐阜
前05節	○ 岐阜 1-0 水島
前06節	△ 北陸 0-0 岐阜
前07節	○ 岐阜 3-0 流経大
前08節	○ 栃木 0-1 岐阜
前09節	● 岐阜 1-3 佐川印
前10節	△ 横河 1-1 岐阜
前11節	○ 岐阜 1-0 琉球
前12節	○ 熊本 0-1 岐阜
前13節	○ 岐阜 1-0 刈谷
前14節	△ YKK 0-0 岐阜
前15節	● 岐阜 1-2 千葉
前16節	● 佐川急 2-1 岐阜
前17節	○ 岐阜 4-2 鳥取
後01節	● 岐阜 0-1 Honda
後02節	△ 岐阜 0-0 北陸
後03節	● 流経大 2-1 岐阜
後04節	● 栃木 0-2 岐阜
後05節	△ 岐阜 0-0 佐川印
後06節	△ 岐阜 1-1 横河
後07節	○ 琉球 0-1 岐阜
後08節	△ 岐阜 1-1 熊本
後09節	● 刈谷 2-1 岐阜
後10節	△ 岐阜 3-3 YKK
後11節	○ 千葉 1-2 岐阜
後12節	○ 水島 2-3 岐阜
後13節	○ 岐阜 3-2 S仙台
後14節	△ TDK 0-0 岐阜
後15節	○ 鳥取 0-3 岐阜

順位表／TOP9

後期第15節(暫定)		
1.	佐川急	74pts +45
2.	熊本	65pts +28
3.	岐阜	57pts +14
4.	北陸	55pts +12

5.	YKK	55pts +11
6.	Honda	52pts +19
7.	横河	51pts + 6
8.	千葉	48pts + 4
9.	栃木	46pts +12

本年の『岐大通』は、ささたく & 吉田鑄造の担当でお届け致しました。ご愛読ありがとうございました。

Today's Guest - welcome to GIFU - 佐川急便SC

1991年に創設の佐川急便東京SC、1965年に創設の佐川急便SC大阪が合併して今年から佐川急便SCになった。東西時代はライバル心が強く、応援団が盛り上げる直接対決はJFLの“風物詩”だった。昨年2位の佐川東京、同3位の佐川大阪の合併で下馬評通りの強さを発揮、前節で今シーズンの優勝を決める。ホームスタジアムは佐川急便守山陸上競技場。



作: ひらっち

試合前の腹ごしらえも、試合後の感想戦も、岐阜駅すぐ前・グランパレホテル東側隣の『博多ラーメン・びったれ家』だ！
11/25と11/26、このMDP持参の方に生(小)1杯サービスからラーメン200円引！

寒い冬にもありがたい、あったかい岐阜駅すぐ前・グランパレホテル東南角の『おでん屋・和(なごみ)』では、11/25と11/26、このMDP持参の方でおでん注文の方に限り、お酒1杯半額か瓶ビール1本半額！

◇続・このシーズンを振り返って

●この日が来るのを待っていた・・・。

いろいろあった今シーズン。簡単じゃないことはわかっていたつもりだったがけれど、想像を超える厳しさと奥深さを教えてくれたJFL。天皇杯中断明け以降は、胃の痛む激戦ばかりだった。再開後のYKK・AP戦。茫然自失の長良川。絶頂と暗転、そして魂の同点劇は、改めてこのリーグの難しさと最後まで諦めない信じる気持ちを再確認させる。

東総での爆発、美作での咆哮、浅中での歓喜を経て迎えた雨の仁賀保。日本海側の天気は移ろいやすく、この季節に信じられないような土砂降りの中半袖ユニで闘う選手。ホームのサポをも圧倒した多数のダンマクも、喉も枯れよとばかりに後押しする現地サポも、雨に濡れ風に打たれた90分。勝利は得られなかったものの積み重ねた勝ち点1。終了後の整列が終わるや否や、サポ席に向かってきてくれた「太陽の子」の想い。帰りには足をひきずらなければならないほどの痛みを耐え、走り続けてくれたキャプテンの闘志。残念ながら遠征を断念した皆さんに、今さらだけど伝えたい。選手もスタッフも誰もが懸命に闘っていたよ、と。

先週の、記憶に新しい鳥取戦。小春日和のバードスタジアム。スタッフの方が「この時期にこんなに暖かいのは珍しいです」というくらい心地よさ。一時肌寒さを感じさせた風も試合開始と共に弱まり、後半には完全にやんでいた。

ゴール裏にはホーム最終戦を迎えたガイナールサポを上回る仲間が集まってくる。「遠征を断念する」というのは「始まるまでには到着する」という意味ですか？と聞きたくなる方も(笑)試合を決めたのは11番の弾丸シュート2発。終了後、「確信」という文字を思い浮かべたのは決してボク一人ではないはずだ。

そして、今日。いよいよホーム最終戦。

これほどまでの昂揚感と緊張感を持って迎えられる喜び。今週のJリーグ理事会の報告、さらに相手が王者・佐川急便SCであることがこの雰囲気には拍車をかける。ただ、前期の借りを返すとかの気負いはいらない。相手がドコだろうと関係ない。まずは勝利を。すべては全部それからだ。

「願ったものはひとつの想い、夢みたものはひとつの幸福。それらはすべて、ココにある。行け！行け！われらのFC岐阜！！」
(ぐん、)

●思えば、開幕前の署名活動からJFL開幕、そして今日ホーム最終戦を迎えるまで本当にあっという間でした

勝利に沸いた日もありました
敗戦に打ちひしがれた日もありました
『夏の陣』を迎えて、ポスター貼りに奔走した日もありました
強い風にさらされた日もありました
夏の照り付ける日差しを受けた日もありました
雨に打たれた日もありました
寒風が吹きすさんだ日もありました

そんな日々があったのも
FC岐阜というチームがあったからです

数年前までは、岐阜にJリーグを目指すチームができるなんて正直思いもしませんでした
それが今、あと1歩のところまでJに手が届くところまでやっています
そして、FC岐阜というチームの存在がなければ
おそらく知り合うことのなかった多くの方々を知り合うことができました
本当に人と人との出会いって不思議なものですよね

そんなシーズンもあと2試合
決して恵まれている環境とはいえない中、選手達は本当に頑張ってくれています

本当に感謝の気持ちでいっぱいです
我々サポーターも力の限りサポートしていきます
今こそチーム、選手、サポーターが1つになって勝利を掴みましょう！
そして堂々と『J』の権利を勝ち取りましょう！

オレたちの夢
オレたちの希望
オレたちの誇り

ありがとう！FC岐阜！！(匿名希望)

●「いよいよ、今期ホーム最終戦なのだなあ」、そんな強い想いが胸を満たしています。

これまで約9ヶ月間、スタジアムの内外を問わず様々な経験をさせて貰いました。ピッチの外では、街頭署名活動やポスター貼りPR行動、個人持株会設立への参加。スタジアムへは、ホームは勿論のこと、アウェイにも「遠征」と称して全国各地を訪れ、ほぼ毎週、FC岐阜の試合に一喜一憂しつつ、チームを信じてスタジアムに足を運ぶ日々。そして、その歓喜と苦悩を共に分かち合う仲間たちの存在。これこそが「地域にサッカークラブのある喜び」なのだと、しみじみ思います。この喜びが、更に拡大していくことを心から願っています。

気がつくと、全34節のリーグ戦も既に32節を終え、残り2つ。しかも、今節はリーグ覇者の佐川急便SCを向かえてのホーム最終戦。Jリーグ昇格条件の4位以内確定に必要な勝ち点を考えると、勝てば天国、負ければ地獄。正に大一番・天王山です。文字通り、死闘になるでしょう。

だからこそ、僕たちは声の限り選手達に声援を送り、最後まで選手を信じ勝利を信じて、彼らを鼓舞しようではありませんか。必ずや、僕たちの想いに選手達は応えてくれることでしょう。みんなの力で、ホーム最終戦を歓喜の輪で包もうではありませんか。

でも、FC岐阜の「夢」は今年で終わりじゃありません。まだまだ続きます。そして僕は、これからも「夢の続き」を見たい、そう思っています。(ささたく)
●今年最後の「岐大通」。僕は毎号投稿することを自らに課してきた。試合の感想やアウェイの地やスタジアムの様子など、振り返ってみると記憶に刻まれていくことは多岐に渡る。これを短い文章でかつ「人様の目に触れてもよいかな」というレベルでまとめるということはいわば「自分と向き合う」ということだ。この執筆活動(なんて大げさなものではないが・・・)で自分は昨年と比べてより深くFC岐阜というチームとかかわれるようになった気がする。今年のホーム最終戦、またまた素晴らしい体験が出来ることを幸せに思う。(TAG)

吉田鑄造の
編集人から一言。

●きっかけは、名古屋金山の手羽先屋でした。「スタジアムを盛り上げるために、サポで何か出来ないかなあ」という話になった時に、ぼくのアタマに浮かんだのは、かつてベガルタ仙台サポが発行していた『ベ・マニア』でした。個人が発行するフリーMDPにも関わらず絶大な支持を集め、全盛時には30分で3,000枚が捌け、入手できなかったひとは超拡大コピーされた壁新聞版を熱心に読んでいました。

●岐阜でも似たようなものを作ろう。クラブオフィシャルのMDPとは異なり「サポの声が届くものにしよう」との思いで始めました。まだ『ベ・マニア』には全然追いつきませんが、第1号の鳥取戦以降、全ホーム戦で発行出来たので自分では及第点とします。印刷と配布にはゴール裏の人たちに思いっきり手伝わってもらいました。どうもありがとう。

●今年の発行はこれで終わりです。来年もぼくが担当するかはわかりませんが、そうでなくてもおそらく誰かが出すでしょう。

●果たして、来年版ではToday'sGuest”で紹介する対戦相手がJクラブになるのか？今日の試合、そして来週のアウェー高崎戦で決まります。応援よろしくお願ひします。そして、ご愛読ありがとうございました。(吉田鑄造)



FC岐阜を除く